

## 1 総合計画審議会の設置目的（概要）

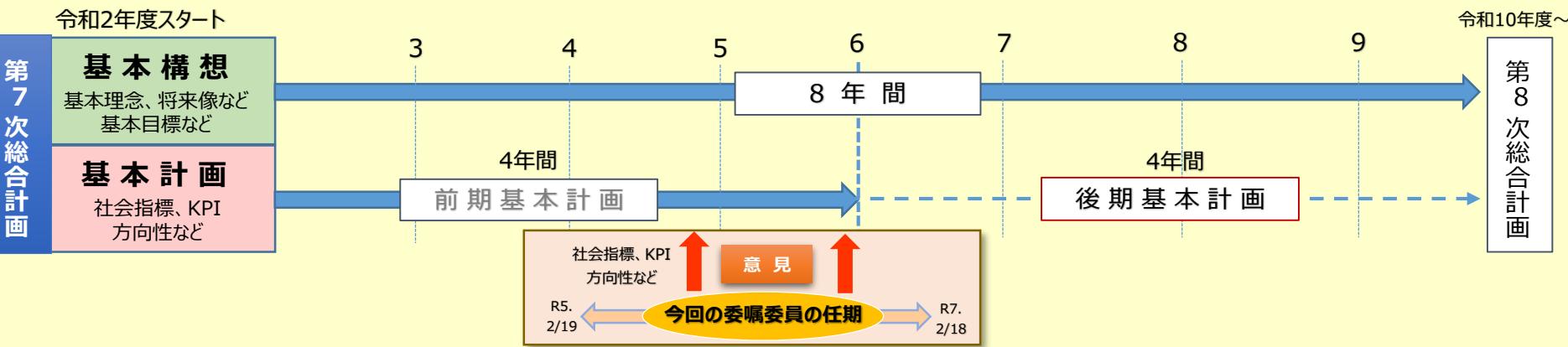
総合計画審議会の設置目的は、次のとおりである（佐世保市総合計画審議会条例第1条）。

- ① 基本構想の策定・変更に関することに対して、ご意見をいただく。
- ② 総合的かつ計画的行政の推進（総合計画の推進）について、ご意見をいただく。



## 2 現在委嘱されている委員の役割

現在委嘱されている委員の役割は、主に「②総合計画の推進」について、ご意見をしていただくこと。



## 3 委員のご意見を、各政策・施策に反映（フィードバック）



## 【しごと】観光商工政策

政策の望まれる姿	社会指標		政策（部局）の使命	
	現状値	目標値方向		
人や財が流入・交流する活力ある産業のまち	市内総生産 (第2次・第3次産業) 737,540百万円 (H28)	→	将来にわたって活力ある地域社会を支える地場産業を支援し、地域資源を活かした産業づくりと交流人口の拡大を進め、活力と賑わいにあふれるまちづくりの実現を目的としています。	



## 改善の方向性

本市の施策も、こんなことを目指してみては？



施策名	KPI（重要業績評価指標）					主な取組	次年度に向けた主な改善の方向性		
	R5目標値	R5実績値	R5達成度（%）	参考	R5目標値	R6目標値			
【施策2】 地場企業の振興	利益を上げた企業の割合 [%]					●中小企業経営支援事業 ●中小企業経営基盤強化事業 ●特産品の販路拡大事業 ●伝統産業振興事業	【重点化】 ●中小企業経営支援事業 中小企業デジタル化支援事業において、ITツールの活用による社内業務の効率化など生産性向上につながるデジタル化の取組を推進し、デジタル技術の活用による生産性向上を図る取組を推進します。  ●産業コーディネート事業 ・中小企業DX・スタートアップ・ベンチャー支援として、新分野進出が期待される事業者の掘り起こしと地方発DX企業の創出、事業意欲の高い事業者間のコミュニティ造成、県の創業支援事業との連携等を推進します。 ・支援センターのイメージ刷新のためリブランディングを実施し、新たな利用者層の掘り起こしや、都市圏で開催されるセミナーのサテライト開催や情報発信等ソフトランチ策に取り組むとともに、コミュニティ活動の活性化に寄与するための環境整備にも取り組みます。  ●伝統産業振興事業・特産品の販路拡大事業 ・三川内焼伝統産業会館の長寿命化対策及び複合化の進捗に向けた課題解決を図ります。 ・三川内焼産地団体主体の取組（販路拡大に向けた取組、後継者育成・確保等）へ支援を行います。  【再編・再構築】 ●新規創業支援事業 ・次世代創業者育成プログラム事業とビジネスプランコンテスト補助事業の連携による通年事業化と新たなコンテンツの追加に向けて、官民連携をベースとした民間主導の取組への移行を継続して検討します。 ●特産品の販路拡大事業 ・「農畜産物や特産品のブランド化の全体像や方向性」、「地域団体商標の支援」について、農林水産部との部局横断的チームを立ち上げ、産品選定とマーケティング戦略の作成の可能性を検討します。		
	47.8	43.4	90.8%	47.8	48.4				
	KPI達成状況の分析								
	●4業種（サービス、卸・小売、製造、建設）に関して、3つの指標（景況感、売上動向、採算動向）で見た場合、建設業を除く全ての業種に関して、3つの指標全てにおいて対前年同期を下回っているもの、対前々年同期を上回っており、コロナ前比較においては、景況感、売上動向、採算動向は回復した状況です。								
	●4業種（サービス、卸・小売、製造、建設）に関して、3つの指標（景況感、売上動向、採算動向）で見た場合、建設業を除く全ての業種に関して、3つの指標全てにおいて対前年同期を下回っているもの、対前々年同期を上回っており、コロナ前比較においては、景況感、売上動向、採算動向は回復した状況です。								
	●4業種（サービス、卸・小売、製造、建設）に関して、3つの指標（景況感、売上動向、採算動向）で見た場合、建設業を除く全ての業種に関して、3つの指標全てにおいて対前年同期を下回っているもの、対前々年同期を上回っており、コロナ前比較においては、景況感、売上動向、採算動向は回復した状況です。								
	●4業種（サービス、卸・小売、製造、建設）に関して、3つの指標（景況感、売上動向、採算動向）で見た場合、建設業を除く全ての業種に関して、3つの指標全てにおいて対前年同期を下回っているもの、対前々年同期を上回っており、コロナ前比較においては、景況感、売上動向、採算動向は回復した状況です。								
	●4業種（サービス、卸・小売、製造、建設）に関して、3つの指標（景況感、売上動向、採算動向）で見た場合、建設業を除く全ての業種に関して、3つの指標全てにおいて対前年同期を下回っているもの、対前々年同期を上回っており、コロナ前比較においては、景況感、売上動向、採算動向は回復した状況です。								
	●4業種（サービス、卸・小売、製造、建設）に関して、3つの指標（景況感、売上動向、採算動向）で見た場合、建設業を除く全ての業種に関して、3つの指標全てにおいて対前年同期を下回っているもの、対前々年同期を上回っており、コロナ前比較においては、景況感、売上動向、採算動向は回復した状況です。								
	●4業種（サービス、卸・小売、製造、建設）に関して、3つの指標（景況感、売上動向、採算動向）で見た場合、建設業を除く全ての業種に関して、3つの指標全てにおいて対前年同期を下回っているもの、対前々年同期を上回っており、コロナ前比較においては、景況感、売上動向、採算動向は回復した状況です。								
【施策3】 ふるさと納税制度の推進	ふるさと納税制度による寄附額【億円】					●ふるさと納税推進事業	【重点化】 ●ふるさと納税推進事業 ・あらゆるカテゴリーで多様な商品がある「魅力」づくりと「数」を増やす取組として、返礼品数（1,300品⇒1,600品）を充実させます。 ・Web上における返礼品の魅せ方など改善し、集客性の高い民間大手ポータルサイトを中心としたPRを行います。 ・体験型やサービスなどの現地決済型返礼品として、地域通貨事業と連携した「e旅ポイント」を導入します。 ・Amazonふるさと納税の導入など、新たなPR手法やポータルサイトの検討及び導入を行います。 ・寄附手続きや問合せなどにおける寄附者の利便性の向上を目指します。		
	25.0	22.9	91.6%	25.0	28.0				
	KPI達成状況の分析								
	●国によるルール改正（寄附募集対象経費の拡大や地場産品基準の厳格化等）により全国的に生じた「駆け込み需要」を一定取り込むことができました。 ●新ルール適用後となる10月1日以降は、返礼率の引き下げや原材料の高騰等による寄附設定額の引き上げに伴い反動減となりました。								

委員名		担当分野名	(しごと・ひと・まち・くらし・行政経営の別)
-----	--	-------	------------------------

## 【依頼内容】

- ・第7次佐世保市総合計画の基本計画のうち、各担当分野における  
◆KPI（重要業績評価指標） ◆施策の方向性 ◆市民に求められる基本的な姿勢・役割 ◆民間の役割 など  
についてご確認いただき、地域の実情、社会経済情勢と一致しているかなどの視点からご意見ください。

【回答期限：令和6年11月15日（金）】

意見の有無	総合計画該当ページ	ご意見（回答欄）
有 ・ 無		

※ご審議、ご承認いただいた内容については、担当部局へフィードバックし各施策に反映させるなど、今後の総合計画の推進に活用させていただきます。